

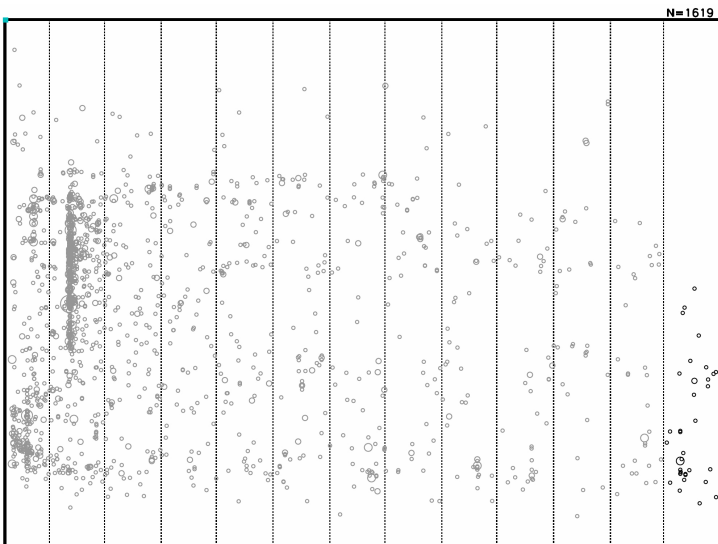
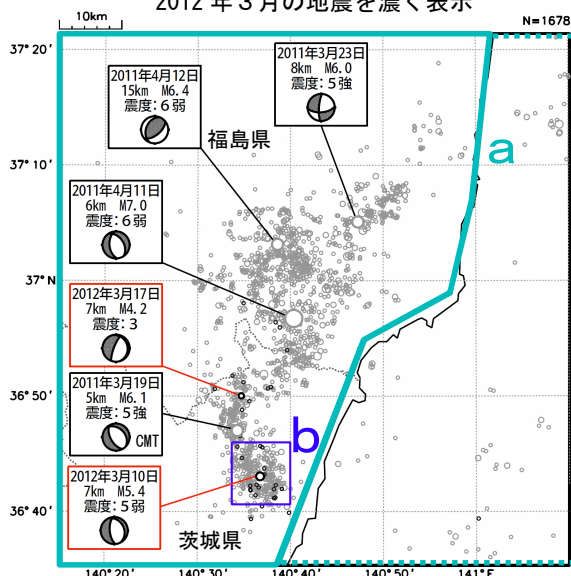
福島県浜通りから茨城県北部の地震活動

福島県浜通りから茨城県北部にかけての地殻内（領域 a）では、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の発生後、活発な地震活動が発生した。2012 年 3 月末現在、活動は全体としては低下してきているものの、南部（領域 b）で M5.0 を超える地震が発生するなど、地震活動が継続している。

この地震活動で発生している地震の発震機構は正断層型が多い。張力軸の方向は、場所によって異なるが、北部では概ね北西－南東方向、南部では概ね東北東－西南西方向を向いている。これまでに発生した最大の地震は、2011 年 4 月 11 日の M7.0 の地震（最大震度 6 弱）である。

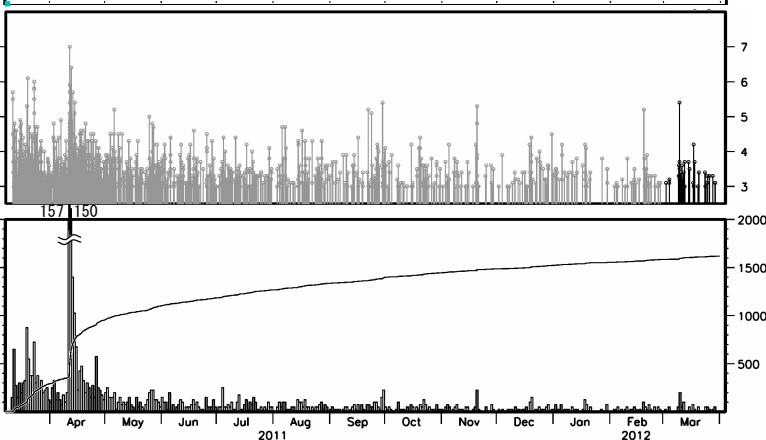
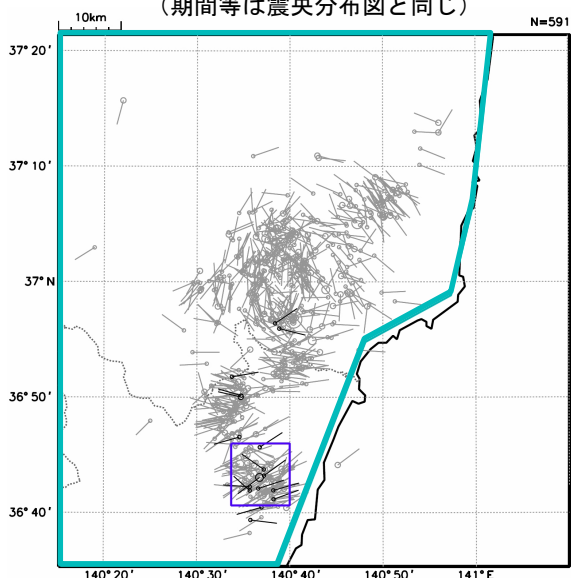
震央分布図
(2011 年 3 月 11 日～2012 年 3 月 31 日、
深さ 0～20km、M \geq 3.0)
2012 年 3 月の地震を濃く表示

領域 a 内の時空間分布図（南北投影）、M-T 図、
日別地震回数及び回数積算図

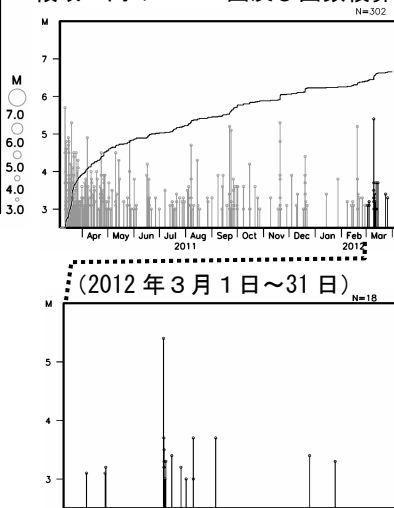


M6.0 以上の地震と 2012 年 3 月に発生した M4.0 以上の地震に吹き出しをつけている。

張力軸の方位
(期間等は震央分布図と同じ)



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



2012 年 3 月には、10 日に茨城県北部の深さ 7 km で M5.4 の地震（最大震度 5 弱、北東－南西方向に張力軸を持つ正断層型）が発生するなど、領域 a で M3.0 以上の地震が 35 回発生した。また、最大震度 3 以上を観測する地震は 5 回発生した（最大震度 5 弱：1 回、最大震度 3：4 回）。

領域 a 内の地震の発震機構の型

●は 2012 年 3 月に発生した地震

